

2025年度 学校推薦型選抜(公募制) 入学試験問題

(80分)

基礎能力 英語・選択(数学・国語) - 2

注意事項

1. 指示がある前に問題冊子に触れてはいけません。解答用紙への記入については、後ほど説明があるので、それまでこの注意事項を読んでください。解答上の注意は、各科目の最初のページに記載してあるので、試験開始の合図後、よく読んで解答してください。
2. 解答は、黒鉛筆で記入してください。
3. 解答用紙には解答欄以外に次の①～③の記入欄があるので、監督者の指示に従いそれぞれ正しく記入し、マークしてください。正しくマークされていない場合は、採点できないことがあります。

① 受験番号欄

受験番号(数字部分のみ)を記入し、さらにその下のマーク欄にマークしてください。
記入方法については、下の記入例を参照してください。

受 験 番 号 欄						
番号欄	1	2	2	0	0	2
マーク欄	○	○	○	●	●	○
	●	○	○	○	○	○
	②	●	●	②	②	●

② 氏名欄

氏名・フリガナを記入してください。

③ 解答科目欄

解答する科目名の下の○にマークしてください。無マークまたは両科目にマークされている場合は0点となります。なお試験問題を見てから解答する科目を決める場合は、試験開始後でもかまいません。

4. 科目、ページ及び選択方法は、下表のとおりです。

科 目		ペー ジ	選 択 方 法
英 語		左開き 1 ~ 9	・「英語」と「選択(数学または国語から1科目)」の2科目を解答すること。
選	数学	左開き 11 ~ 14	
択	国語	右開き 1 ~ 16	

5. 問題の文中や設問の の中の記号は重複を示します。
6. 試験中に問題冊子の印刷の汚れ、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は、無言のまま手を挙げて監督者に知らせてください。
7. この問題冊子は、どのページも切り離してはいけません。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

英語

解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。

例えば、問題 **I** の、解答欄 **ア** と表示のある問題に対して、「①」と解答する場合は、次の(例)のように、問題番号 **I**、解答欄 **ア** の①にマークしてください。

(例)

英語

I	英語 I 解答欄										
	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	(-)	(0)	(●)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
イ	(-)	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
ウ	(-)	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
エ	(-)	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)
オ	(-)	(0)	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)

英 語 - 2

解答欄は (解答欄 I) ~ (解答欄 II)

次の英文を読んで、後の設問に答えよ。*がついている語（句）は後に注がある。

解答欄は の ~

A few years ago, the supporters of Newcastle United, an English Premiership *football team, reacted with anger when the owner of the club tried to rename their stadium. Fans couldn't believe the plan to get rid of the name of St. James' Park: it had been the home of the club since 1892 and was due to host early-round matches in the Olympic Games. The *row over the proposal was so great that it was even discussed in the British Parliament. And the reason for the change? Money. (A)[Specifically], the club's owner was looking for a new sponsorship deal and estimated that a new name for the stadium would bring in up to £10 million a year. Despite the *controversy, the name was changed, and within a few months the club managed to find a sponsor. However, the sponsor promptly restored the original stadium name and was happy to have their company name on the players' shirts instead. This was a [2] business decision as it is [3] to successfully promote your company when there's controversy involved.

The story highlights the extent to which sponsorship is big business in sport. (ア) a global scale, sports sponsorship is estimated to be worth tens of billions of dollars a year. Fees can be huge: Manchester United succeeded (イ) reaching an agreement to the tune of £750 million over ten years with Adidas, after their (B)[previous] sponsors Nike weren't able to accept the club's financial demands. Unlike advertising, sponsorship doesn't actually focus on the features or aspects of specific products. It's all about getting the company's name known and raising brand awareness across a wide market. This explains the logic of partnerships between sports products (clothing,

equipment, etc.) and sports teams. [4], Life Fitness, the company behind the first (C)[electronic] exercise bike seen in gyms everywhere, is an official sponsor of the Ladies Professional Golf Association.

But there's a new phenomenon in sports business which gives the big-name sports even greater financial power than before: television and broadcast rights. With the massive national and international audiences that some sports are able to achieve, media companies are eager to have the rights to show the events. The media companies are willing to pay such large sums [5] they can attract income from advertising. Recently we've seen *bidding wars for the TV rights to many sports events including the Olympic Games. For *broadcasters, media content today is divided (ウ) two types: live events (which clearly includes sport) and 'everything else'. The future for these companies lies in the first type, and the sports industry is very aware of this, so we'll see more sky-high deals in the years to come.

(注) football サッカー row 騒動 controversy 論争

bidding war 入札合戦 broadcaster 放送局

(From: Helen Stephenson, Lewis Lansford, and Paul Dummett,

Keynote Upper Intermediate Student's Book)

出典 :

Keynote Upper Intermediate Student's Book by Paul Dummett, Helen Stephenson, Lewis Lansford, National Geographic Learning, 2016. Cengage Learning Inc. Reproduced by permission. www.cengage.com/permissions.

問1 文中の空所 (ア) (イ) (ウ) に入れるのに最も適当なものを、それぞれ①~④の中から1つずつ選べ。

(ア)

解答欄

① By

② For

③ On

④ To

(イ)

解答欄

① to

② in

③ of

④ with

(ウ)

解答欄 ウ

- ① of ② by ③ from ④ into

問2 (A)~(C)の [] 中の語について、以下の問いに答えよ。

(A) specifically の最も強く発音する音節を、①~⑤の中から1つ選べ。

解答欄 工

spe - cif - i - cal - ly

- ① ② ③ ④ ⑤

(B) previousの下線部と同じ発音の下線部を含むものを、①~④の中から1つ選べ。

解答欄 才

- ① paid ② protect ③ spread ④ female

(C) electronic と最も強く発音する音節の位置が同じ語を、①~④の中から1つ選べ。

解答欄 力

- ① ex-pe-ri-ence ② el-e-va-tor
③ e-qual-i-ty ④ Eu-ro-pe-an

問3 下線部(1)の内容に最も近いものを、①~④の中から1つ選べ。

解答欄 キ

- ① changing the name of St. James' Park
② changing the rental fee of the football stadium
③ changing the host city of the Olympic Games
④ changing the anger of the fans into support for the team

問4 空所 [2] [3] に入れるのに最も適当な組み合わせを、①～④の中から1つ選べ。

解答欄 ク

	[2]	[3]
①	bad	difficult
②	natural	possible
③	wise	hard
④	smart	easy

問5 空所 [4] に入れるのに最も適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答欄 ケ

- ① However
- ② For example
- ③ To begin with
- ④ Generally speaking

問6 空所 [5] に入れるのに最も適当なものを、①～④の中から1つ選べ。

解答欄 コ

- ① until
- ② after
- ③ although
- ④ since

問7 本文の内容に最もよく一致するものを、次の(1)(2)の①～④の中からそれぞれ1つずつ選べ。

(1)

解答欄 サ

- ① セント・ジェームズ・パークは数年前に建てられた。
- ② セント・ジェームズ・パークはオリンピックの決勝戦の会場になった。
- ③ セント・ジェームズ・パークの名称は一度変更された後で元に戻った。
- ④ セント・ジェームズ・パークにはスポンサー企業の多くの広告が設置されている。

(2)

解答欄 シ

- ① マンチェスター・ユナイテッドのスポンサーは、アディダスからナイキに変わった。
- ② ライフ・フィットネス社は、ゴルフ用品の製造に特化した世界的企業である。
- ③ メディア企業にとってのスポーツの主な価値は、生中継が可能な点にある。
- ④ オリンピックは人気の高いイベントなので、世界中の企業がスポンサーになっている。

問8 本文の主題として最も適当なものを、次の①～④の中から1つ選べ。

解答欄 ス

- ① 企業にとってのスポーツの経済的価値。
- ② スポーツ関連企業間の激しい競争の弊害。
- ③ 各スポーツの人気アップへの関連企業の貢献。
- ④ 熱烈なファンが各スポーツに与える大きな影響。

Ⅱ 次の問1～3の設問に答えよ。

解答欄は 英語 Ⅱ の ア ～ ト

問1 次の(1)～(12)の各英文の空所に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①～④の中から1つずつ選べ。

(1) The bus to the college leaves from here () ten minutes.

解答欄 ア

- ① at ② for ③ all ④ every

(2) “() did you think of the movie?” “The story was too complicated!”

解答欄 イ

- ① What ② How ③ Who ④ Where

(3) John was the first student to () his hand and answer the teacher’s question.

解答欄 ウ

- ① rise ② raise ③ rose ④ raised

(4) I wish I () born into a rich family.

解答欄 エ

- ① am ② have been ③ had been ④ can be

(5) Our school policy prohibits students () working part-time.

解答欄 オ

- ① from ② to ③ by ④ of

問2 次の(1)(2)の空所に入れるのに最も適当な英文を、それぞれ下の①~④の中から1つずつ選べ。

(1) Kana: Have you tried any new recipes lately?

Phil: Yeah. I just tried to make a good tomato pasta and it turned out really well.

Kana: Sounds delicious. ()

Phil: Sure. Do you have something to write it on?

解答欄 ス

- ① Can you make it for me this evening?
- ② Would you like to try my pasta?
- ③ Can you share the recipe with me?
- ④ I've lost my recipe for tomato soup.

(2) Lisa: I'm thinking about changing jobs.

Hiroki: Why? I hear the company you work for pays pretty well.

Lisa: ()

Hiroki: I see. But no matter where you work, relationship problems are common.

解答欄 セ

- ① Yes, but it's not the only reason.
- ② Yes, but I don't get along with my boss.
- ③ No, my salary is not as high as you think.
- ④ No, and I want to do something more challenging.

数学

解答科目欄の記入について

(例)

解答科目欄	解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしてください。	
	数 学	国 語
	●	○

解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。

- 冊子の余白部分は計算用紙に使用してもかまいません。
- 問題の文中の ア、イウ などには、数字（0～9）または符号（-）が入り、ア、イ、ウ、…の一つ一つは、これらのいずれか一つに対応しています。それらを解答用紙のア、イ、ウ、…で示された解答欄にマークしてください。

(例1) 問題 I の アイウ に『-83』と解答する場合。

I	解 答 欄										I
	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
ア	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●
ウ	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○

- 分数形で解答する場合は、既約分数で答えてください。比で解答する場合も同様で、例えば4:6の場合には2:3と答えてください。また分数の符号は分子につけ、分母につけてはいけません。

(例2) 問題 II の $\frac{\text{エオ}}{\text{カ}}$ に『 $-\frac{4}{5}$ 』と解答する場合は、 $-\frac{4}{5}$ とし

ます。

II	解 答 欄										II
	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	
ア	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
イ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ウ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
エ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
オ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
カ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

- 根号を含む形で解答する場合は、根号の中に現れる自然数が最小となる形で答えてください。例えば、 $6\sqrt{2}$ と答えるところを、 $3\sqrt{8}$ のように答えてはいけません。

数 学 - 2

解答欄は (解答欄 I) ~ (解答欄 II)

解答欄は の ~

[A]

実数全体を全体集合として、実数 x に関する 4 つの条件 p, q, r, s を次のように定める。ただし、 a は正の定数とする。

$$p: |x-5| < 3 \quad q: x \geq 2 \quad r: x < 6 \quad s: |x| > a$$

また、条件 p, q, r, s の否定をそれぞれ $\bar{p}, \bar{q}, \bar{r}, \bar{s}$ と表す。

(1) 条件「 p かつ q 」の否定は「 \bar{p} \bar{q} 」である。

命題「 p ならば (q かつ r)」は である。

命題「(\bar{p} \bar{q}) ならば \bar{p} 」は である。

, , に当てはまるものを、次の ①~④ のうちから一つずつ選べ。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。

① または ② かつ ③ 真 ④ 偽

(2) 命題「 q ならば s 」が真となるような a の値の範囲は、 $0 < a$ である。また、命題「 p ならば \bar{s} 」が真となるような a の値の範囲は、 a である。

, には当てはまるものを、次の ①~④ のうちから一つずつ選べ。ただし、同じものを繰り返し選んでもよい。

① $<$ ② \leq ③ $>$ ④ \geq

(3) 命題「条件 p を満たすすべての x に対して、 $bx > -x + 11$ (b は定数) が成り立

つ。」が真となるような b の値の範囲は、 b $\frac{\text{ケ}}{\text{コ}}$ である。

には当てはまるものを、次の ①~④ のうちから一つ選べ。

- ① $<$ ② \leq ③ $>$ ④ \geq

I (B)

AB=6, AC=8, $\angle BAC=90^\circ$ である直角三角形 ABC がある。△ABC の内接円 O の中心を I, 円 O と 2 辺 BC, CA との接点をそれぞれ D, E とする。∠BAC の二等分線と辺 BC の交点を F とする。

(1) 内接円 O の半径は である。

(2) $BF = \frac{\text{シス}}{\text{セ}}$ である。また、△IDF の面積は $\frac{\text{ソ}}{\text{タ}}$ である。

(3) 直線 EF と直線 AB との交点を G とすると、 $AG = \frac{\text{チツ}}{\text{テ}}$ である。

また、直線 EF と内接円 O との交点のうち、E と異なる点を H とすると、

$EH = \frac{\text{トナ}}{\text{ニヌ}}$ である。

解答欄は $\boxed{\text{II}}$ の $\boxed{\text{ア}}$ ~ $\boxed{\text{ニ}}$

$\boxed{\text{II}}$

2次関数 $y = -x^2 - 2x$ のグラフを x 軸の正の方向に a , y 軸の正の方向に $4a^2 - 4a$, 平行移動したグラフを $C: y = f(x)$ とする。ただし, a は正の定数とする。

(1) $f(x) = -x^2 + (\boxed{\text{ア}}a - \boxed{\text{イ}})x + \boxed{\text{ウ}}a^2 - \boxed{\text{エ}}a$
である。

(2) C が x 軸と接するとき, $a = \frac{\boxed{\text{オ}}}{\boxed{\text{カ}}}$ である。

また, C が x 軸から切り取る線分の長さが10であるとき, $a = \boxed{\text{キ}}$ である。

(3) $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最大値 M は

$$0 < a < \boxed{\text{ク}} \text{ のとき, } M = \boxed{\text{ケ}}a^2 - \boxed{\text{コ}}a,$$

$$\boxed{\text{ク}} \leq a < \boxed{\text{サ}} \text{ のとき, } M = \boxed{\text{シ}}a^2 - \boxed{\text{ス}}a + \boxed{\text{セ}},$$

$$\boxed{\text{サ}} \leq a \text{ のとき, } M = \boxed{\text{ソ}}a^2 - \boxed{\text{タ}}$$

である。

また, $0 \leq x \leq 1$ における $f(x)$ の最小値を m とするとき,

$$M - m = \frac{1}{2} \text{ となる } a \text{ の値は, } a = \frac{\boxed{\text{チ}} - \sqrt{\boxed{\text{ツ}}}}{\boxed{\text{テ}}}, \frac{\boxed{\text{ト}} + \sqrt{\boxed{\text{ナ}}}}{\boxed{\text{ニ}}}$$

である。

[数学 終わり]

このページは余白です。メモなどに使用してください。

このページは余白です。メモなどに使用してください。

国語

解答科目欄の記入について

(例)

解答科目欄	解答する科目を一つ選び、科目の下の○にマークしてください。	
	数 学	国 語
	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

解答上の注意

解答は、解答用紙の解答欄にマークしてください。

例えば、問題 **I** の、解答欄 **ア** と表示のある問題に対して、「①」と解答する場合は、次の(例)のように、問題番号 **I**、解答欄 **ア** の①にマークしてください。

(例)

I	解 答 欄 I										
	-	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ア	(-)	0	●	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
イ	(-)	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
ウ	(-)	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
エ	(-)	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
オ	(-)	0	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨

国語 1 2

I

次の文章を読んで、後の問に答えよ。

解答欄は

I

の

A

〜

コ

論理学の教科書などには、表象と概念とを区別して、前者を心理的なもの後者を論理的なもの、としているものが少なくない。だが、何かの内容なり対象なりを指し示さない表象はないのだから、表象であつてもいつも、何らかたといえば「意味する」というような論理的作用において成り立つのであるし、それから概念が言うまでもなく観念の一種の資格にほかならなくて、心理的機能にぞくする事も議論のない処だ。してみると、表象と概念との区別は、心理的であるか論理的であるかという点にあるのではなくて、仮にこれをごく主観的・観念的な観点から見るとすればいずれも心理的な範囲におけるものの区別だし、またこれをもう少し客観的・実在的な点から見ればいずれも論理的な範囲におけるものの区別なのである。

心理的な区別と言ってもよし、また論理的な区別と言ってもいいが、とにかく、表象と概念とが、ほかならぬ実在との関係如何によって、区別されるということが、今大事な点だ。もつとも実在と言っても色々の意味と種類と段階があるが、仮に最も疑うことの出来ない実在と考えられる外界の現実を、実在一般の標準にとれば、さし当たり問題の混乱を防ぐことが出来る（自我があるとか自分がいるとかいうような、一般的な抽象物は、それだけですでに実在の資格を欠いている。それは実在ではなくて認識論的想定に過ぎないからだ）。

表象はこれを観念（アイディア）や影像（イメージ）だと言つていい。と言つるのは、フト思いついた着想や、考え出した理想や願望や方針、または脳裏にこびりついて離れない理想、そうしたものは、多くの場合客観的現実（それは外界の存在によって条件づけられている）からは無関係な主観的自由意志ともいふべきものだけによって、保証されているものだが、こうした勝手な気儘が、一応、表象の有つ本質的な特色なのである。人間は恐らく自由な表象の最も発達した動物だろうが、また人間ほど自由な表象を愛する動物もない。無条件な徹底的アルビトラリネス、^(注)全く理由も根拠もなしに悪を為し得るか、世界を一杯の紅茶に代えても悔いなくかという、そういう真正の意味における自由意志説は（その論拠はニヒリズムに

まで行かなければ停止しないが）、人間のこの自由な表象の偏愛癖が、馬鹿馬鹿しく誇張されて理論の外観をとったものにほかならないのである。

表象の偏愛は言わば人間の論理的本能の一種のようなもので、それが凡ゆる機会を (a) まち伏せして頭を出すのであるが、しかしそれだけに、そこに何かの合理的な核心が横たわっているだろう事は、感じ取らねばなるまい。ただ根本的な救うべからざる誤謬 (これは正に人間の誤謬になるわけだ) は、この表象なるものがその合理的な核心とは関係なしに、馬鹿馬鹿しく全般化され誇示されて、みずからナンセンスへ導くという点なのである (一般に観念論はこのような次第で成り立つのである)。

表象が著しく有っているこの誇張の能力、空想力、示唆力、象徴力等々は、すでに多くの人が古くから今日に至るまで、指摘し続けて来ている。認識を象徴記号の体系と考える哲学者や自然科学者、群集心理や催眠術における示唆の役割の説明、先天的空想力 (カントの先験的構想力) による認識理論や芸術理論、それから文学における誇張の積極的な役割の提唱 (例えばゴッリキーに見られる)、などがそれだ。だが、それにも拘わらずその合理的核心になると、それについては、余りハッキリしたものを我々はこれまで与えられていないと思われる。—— (1) 表象がもつだろう合理的核心、その空想的な肉づけを支える健全な骨格を、説明するものは、ところで概念でなければなるまいと思う。

表象と概念とを極めて計画的に区別したのがヘーゲルであったことは、人の知る通りである。ただ彼は心ならずも概念をば、自分みずから知るところをその唯一の肉体にしているらしい精神 (世界精神) に還元してしまったので、概念は遂にただの観念 (イデー) の類に帰着してしまった。これでは科学的・理論的な実証的概念と妄想的表象との最後の区別は、遂に (b) 払拭されてしまわざるを得ない。もし神の世界創造が妄想による計画によったとすれば、ヘーゲルはそういう神様をも義とし、これを弁護しなければならぬ義理になるのである。——言うまでもなく概念の唯一の真の役目は、それが実在を把握することであり、従ってまた把握され反映されたものとしての実在を、そのみが指し示し得るということにあったのである。

我々が日常使っている諸概念は、人間の経験 (生活をテストし淘汰する処の) を通じて歴史的に発達した認識の諸成果であって、従って論理機関の部分品なのである。認識の歴史が織り上げた範疇組織の、

I

でそれはあるのだ。概念と

は、理論的認識のために歴史的に用意された言わば科学的写本であつて、我々は日常これを使って（もつとも大抵の場合には好い加減にしか使っていないのだが）生きている。技術学、自然科学、社会科学、等々に基づく一切の II の認識が、皆これから出来上がっているのである。

ところがしかし、実際には世間の人間は、何もこういう科学的範疇・理論的概念だけを使って生きていてのではない。彼らの多くの者または或る者は、概念は死んだものとさえ言っている。⁽²⁾ そういう連中の気持では、この範疇＝概念なるものは少しも尊重されるに値しない。彼らは概念とは全く別な何物かを欲している。そこで例の自由な表象の方が採択されるというわけなのである。概念は死んでいる、これに反して表象（観念）は生きている、表象（観念）は自由だが概念は不自由だ、と彼らは言うのだ。（ア）

しかしもつと悪いことは、単に概念を斥けて表象を歓迎するだけではなく、概念の代わりに表象を動員しようしたり、概念と表象とを一緒くたにして混成チームを造り上げたりすることだ。科学的理論の代わり、に妄想の体系をでっち上げたり、理論的分析の中に、平気で詩的文学的な観念連合の一鎖をはめ込んだりするのである。科学的概念で分析する代わりに文学的表象で科学的結論を出そうとしたり、科学的概念で或る程度まで行くと、それから先は、何の言いわけもなしに、急に文学的表象へ話を切りかえてしまつたりする。——今日の形而上学（注5）（ベルグソン、ニーチェ、キルケゴール、西田哲学、その他）がなぜあんなに文学的な美しさを持っているか、そしてなぜ、にもかかわらず信用出来ないかは、今のこのやり口からよく説明がつく。（イ）言うまでもなく文学自身について言えば、この文学主義が特に著しい。（ウ）

で、概念（科学的範疇）と表象（文学的諸観念）とを峻別するということは、広く科学ないし哲学にとつて、また文学にとつて、今日何より大事な課題なのだ。——だが、この点、すでに私は何遍も触れたことである。（エ）

問題は、科学的概念と文学的表象との区別を通じて、その結合の仕方如何にあるのである。

科学的概念と文学的表象（人間的表象？）との使用上の峻別を説いたが、すでに多くの人が概念は死んでいると考えたように、概念と表象との区別はむしろ一見初めから明らかであるとも考えられるだろう。しかし同時にまた、⁽³⁾ 二つはそれほど違ったものではないという外観を呈することも指摘しておかなければならぬ。自然科学における諸概念、例えば質量の概念などを取ってみると、普通これは力と加速度との関係によつて定義されている。ところがそれは全く便宜的な説明のた

めにすぎぬのであって、質量の概念はこれによって決して定義されてしまったのではない。現に質量には重力質量と慣性質量とが区別されるし、ただの「物質的」な質量の他に電磁的質量も考えられる。でつまり質量という概念は、物理学者の生きた直観に従って使われて初めて、科学的概念となることが出来る、ということが判る。そしてこの種の直観は、直観的な暗示や連想を抜きにしては決して働くものではない。(4) 自然科学の諸概念も、だから、普通考えられ易いように、死んだものなどは決してない。数学においてさえも、こうした直感が如何に生きて働かねばならぬかという事は、洞察ある多くの数学者の主張する処である。

(戸坂潤 『科学と文学の架橋』 燈影舎 出題の都合上、一部本文を改めた)

- (注1) アルビトラリネス——恣意性。
- (注2) カント——一七二四～一八〇四年。ドイツの哲学者。
- (注3) ゴーリキー——一八六八～一九三六年。旧ソ連の小説家・劇作家。
- (注4) ヘーゲル——一七七〇～一八三一年。ドイツの哲学者。
- (注5) ベルグソン——一八五九～一九四一年。フランスの哲学者。
- (注6) ニーチェ——一八四四～一九〇〇年。ドイツの哲学者。
- (注7) キルケゴール——一八一三～一八五五年。デンマークの哲学者。
- (注8) 西田——西田幾多郎。一八七〇～一九四五年。日本の哲学者。

問一 二重傍線部(a)・(b)の各語句の本文中での解釈として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ
 選ぶ。

解答欄

ア・イ

(a) まち伏せして

ア

① 期待して

② 無視して

③ 見計らって

④ 避けて

⑤ 受けとめて

(b) 払拭されて

イ

① 曖昧にされて

② 明らかにされて

③ 忘れられて

④ 消し去られて

⑤ 発見されて

問二 空欄

I

II

に入る語として最も適当なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答欄

ウ・エ

I ウ

① 織維

② 運針

③ 職工

④ 呪縛

⑤ 精華

II エ

① 哲学上

② 形而上

③ 生活上

④ 空想上

⑤ 表象上

問三 本文中に次の文を補うとき、最も適当な場所は本文中の(ア)～(エ)のうちどこか。次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

才

これは論理上の文学主義とも言うべきもので、概念の代わりに表象を愛するというあの人間的偏愛の上に成り立つ処のものだ。

- ① (ア) ② (イ) ③ (ウ) ④ (エ)

問四 傍線部(1)「表象がもつだろう合理的核心、その空想的な肉づけを支える健全な骨格を、解明するものは、ところで概念でなければなるまい」とあるが、どういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

力

- ① 客観的現実から自由である表象が一定の合理性をもつように見える場合は、その根拠となるものは実在を指し示す概念であり、もはや表象とはいえないということ。
- ② 表象が客観的現実から自由になる場合、それが一定の合理性を保っているかは感覚的にしかとらえられず、実在を通じて概念を把握する過程と同様ではないということ。
- ③ 表象は客観的現実から自由な場合でも一定の合理性をもちうるが、その合理性を裏づけるものは、精神的な概念の他にはないということ。
- ④ 表象という客観的現実から自由なものにも一定の合理性があるが、その合理性を明らかにするものは、実在を指し示す概念であるはずであるということ。

問五 傍線部(2)「そういう連中の気持」とあるが、どのような「気持」か。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

キ

- ① 科学的範疇が定義する理論的概念だけで現実の社会生活を送るのは味気なく、生きた人間による自由な表象の方が優れていると感じる気持。
- ② 科学的範疇で用いられる理論的概念は時代錯誤なものとなっており、現代の時勢を反映するには自由な表象を用いていく必要があると感じる気持。
- ③ 科学的範疇における理論的概念は現実を把握する手段として一定の価値はあるものの、人間の意志を生き生きととらえる表象よりは有用性が低いと感じる気持。
- ④ 科学的範疇によって認識される理論的概念は不自由なものであると感じ、客観的現実を超越する人間の自由な意志が反映される表象の方を求める気持。

問六 傍線部③「二つはそれほど違ったものではないという外観を呈する」とあるが、これはどのような状態か。その説明

として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

ク

- ① 概念が表象と同じように、主観の自由意志によつて直観的にとらえることができる生きているものとして感じられる状態。
- ② 概念が表象と同じような空想や象徴を取り入れた結果、根本的な誤謬をはらみ、人間的な生きているものとして感じられる状態。
- ③ 表象が概念と同じように、主観の自由意志にとどまらずに、客観的な実在と確かなつながりがあるものとして感じられる状態。
- ④ 表象と概念を区別するはずの実在についての認識が不確かになったために、表象が概念と同じように死んでいるものとして感じられる状態。

問七 傍線部(4)「自然科学の諸概念」とあるが、これについて筆者はどのようなものだと考えているか。その説明として最も適当なものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

ケ

- ① 観察や研究という過去の記録だけでなく、人間が直観的に真实性を実感することを通じて共通概念として通用するようになる社会的なもの。
- ② 学問的な定義だけでなく、科学者の直観的な暗示や連想などの生き生きとした新しい発想があつて生み出される、身体的なもの。
- ③ 科学的な客観性だけでなく、直観的な暗示や連想といった偶然性にたよつた表象がともなつてはじめて成立する動的なもの。
- ④ 論理的な定義だけでなく、直観的な暗示や連想といった人間の直観がともなつてはじめて成立する生き生きとした人間的なもの。

問八 本文の内容に合致するものを、次の①～④の中から一つ選べ。

解答欄

コ

- ① 人間は自由を愛する本性ゆえに概念よりも表象を好む傾向を脱却できないことが通常であり、表象と混成した状態でなければ概念を受け容れることが難しい。
- ② 人々は表象と概念の峻別をたやすくできると思っているが、実は科学者が自然科学の概念を取り扱う過程にあつても、それらの境界を見極めることが困難な場合がある。
- ③ 形而上学の分野では表象と概念を混成する試みによつて、文学的な美しさを獲得しただけでなく、科学的概念と文学的表象を結合する仕方に大きな影響をもたらした。
- ④ 表象を心理的なもの、概念を論理的なものとする区別は妥当ではなく、表象と概念は外界の現実との関わり方という観点で区別するべきである。

II

次の各問に答えよ。

解答欄は

II

の

A

と

T

問一 次の a ～ e の傍線部にあてはまる漢字と同じ漢字を含むものを、各群の ① ～ ⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答欄

A

と

O

a キョウアイな道に行く

A

① 特権をキョウジユする

② ドキョウがある所を見せる

③ ヘンキョウな考えに陥る

④ ギキョウシンに訴える

⑤ ジョウキョウが変化する

b 歴史にゾウケイが深い

I

① ショウケイの念を抱く

② ジツケイ判決が下る

③ 出雲大社にサンケイする

④ 北アルプスのセツケイを歩く

⑤ 神のケイジを授かる

c ハクヒョウをふむ思い

U

① センパクの免許をとる

② ハクサイを漬物つけものにする

③ ハクシ課程を修了する

④ 実力がハクチュウする

⑤ ハクジョウな態度を恨む

d セツソウなく意見を変える

工

① 楽器をエンソウする

② カンコンソウサイの風習を知る

③ 自信をソウシツする

④ 野球界のソウヘキをなす

⑤ 飛行機をソウジュウする

e 七時にキシヨウする

オ

① コウシヨウな趣味をもつ

② 環境問題にケイシヨウを鳴らす

③ 終戦のシヨウチヨク

④ 犯罪のオンシヨウになる

⑤ カフンシヨウになる

問二 次の a ～ e の傍線部にあてはまる漢字を含む熟語として最も適当なものを、各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答欄

カ
ク
コ

a ひどい有り様の部屋

カ

- ① コクメイに事態を記録する
- ② 自転車をコクシする
- ③ コクモツを品種改良する
- ④ 腕時計でジコクを確認する
- ⑤ シツコクから解放される

b 資産をふやす

キ

- ① アイゾウが半ばする
- ② ナイゾウを検査する
- ③ 土地をゾウヨする
- ④ ゾウキンを洗う
- ⑤ 細胞がゾウシヨクする

c 眠りをむさぼる

ク

- ① ドンコウ列車で移動する
- ② ドンヨクに知識を求める
- ③ 隣国をヘイドンする
- ④ ドンテンから雨が降り出す
- ⑤ 舞台のドンチヨウが上がる

d 仇あだをうつ

ケ

① 歌手をスウハイする

② ショウヤクを書き起こす

③ オウセイな食欲を示す

④ 活発にトウロンする

⑤ ツウヨウを感じない様子でいる

e 川のながれが速まる

コ

① リユウトウダビに終わる

② 砂のリユウシを観察する

③ リユウサンを用いて実験する

④ リユウコウを追いかける

⑤ リユウビを逆立てる

問三 次のa～dのことわざ、慣用句、故事成語の空欄と同じ漢字があてはまる四字熟語を、後の①～⑧の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答欄

サ
～
セ

a サ は小を兼ねる

b シ の居ぬ間に洗濯

c ス は二物を与えず

d 失敗は成功のセ

① 神出没

② 因応報

③ 初志徹

④ 勸善悪

⑤ 地神明

⑥ 魑ち魍もうりょう

⑦ 孟三遷

⑧ 胆不敵

問四 次の a、b、c の空欄に身体の一部や色を表す漢字一字を入れてできる慣用句の意味として最も適当なものを、各群の

①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選べ。

解答欄

ソ
①
 チ

a を酸っぱくする

ソ

- ① 厳しい口調で言う
- ② 言いづらいことを言う
- ③ 何度も繰り返し返して言う
- ④ 声を張り上げて言う
- ⑤ まわりくどく言う

b を切る

タ

- ① 知らないことを知っているふりをする
- ② 知っているのに知らないふりをする
- ③ 知っているかどうか探りを入れる
- ④ 知らないことを堂々と認める
- ⑤ 知っていることをはつきりと言う

c にしみる

チ

- ① 強く感じる
- ② 気持ちがあくじける
- ③ うっとうしく思う
- ④ 気がそがれる
- ⑤ 心が沈む

問五 次の文章を読み、傍線部「四季のイデオロギー」の説明として最も適当なものを、後の①～⑤の中から一つ選べ。

解答欄

ツ

平安時代半ばに『古今和歌集』（905年頃）が編纂されたが、収録されている和歌はすべて、天皇、貴族や僧侶、高級武士など、荘園の所有が制度的に認められた支配層の人たちが詠ったものである。そこには、『万葉集』にあった、直接自然と対峙しながら農作業や開墾などに携わり、あるいは干ばつや冷夏などの自然災害や飢饉に苦しむ（鄙（いな）か）の農民たちの自然観は、もはやみられない。都に住みながら、季節の移ろいの中の鳥や花や月を、また春の霞、冬の雪、夏の五月雨（梅雨）などの天気現象を、屋内に居て快く視聴覚や嗅覚として詠う歌が中心であり、夏の蒸し暑さなど耐えがたいものを詠むことはなかった。

ただ、そこに詠われた季節の歌の構成と内容は、その後、良くも悪くも近代までの千年におよぶ日本人の四季文化のモデルとなった。シラネはこれを「四季のイデオロギー」とよび、和歌は奈良時代から江戸時代までの日本人の自然観に圧倒的な影響をおよぼし、和歌以外の貴族文化としての文学や、屏風絵、襖絵、絵巻のような視覚芸術にも浸透したと主張している。その結果、近代になると、季節をめぐる連想、調和、優雅さに重きをおいた和歌を基盤とする世界観だけが「日本人」の唯一の自然観とみなされ、農業などの人間の生の営みを通じた人と自然の関係性や環境としての自然といった、その他の多様な視点は見逃されてしまったとも指摘する。

（安成哲三『モンスーンの世界』中央公論新社）

（注）シラネ——ハルオ・シラネ。一九五二。日系アメリカ人の日本文学研究者。

- ① 支配層の編纂した和歌集を通じて形成された、種蒔^まきの季節である春と収穫の季節である秋を重視する文化のモデル。
- ② 平安時代に支配階層によって形成された、権力構造の維持と強化のために利用される美意識の体系。
- ③ 和歌を通じて豊かになってきた、自然現象を神意が現れたものとしてとらえる自然観を基本とする美意識の体系。
- ④ 和歌に詠まれる四季のありように基づいて日本人の自然観や芸術に影響を与えてきた美意識の体系。
- ⑤ 直接自然と対峙する人々が詠んだ和歌が表現してきた、自然の恩恵と災害という二面性をとらえた美意識の体系。